

ホテルといで湯の里

【豊田地区】

下関市豊田町ってこんなところ

人口：4,192人（令和7年4月末現在）

面積：163.47km²

市内最高峰の華山（げさん）・狗留孫山（くるそんざん）・一位ヶ岳など中国山地の西端の山々に周囲を囲まれた自然豊かな町です。木屋川は日本有数のゲンジボタルの発生地として国の天然記念物に指定され、5月下旬から6月下旬にかけて町内のいたる所でホテルの乱舞を鑑賞することができます。



道の駅「蛸街道西ノ市」

温泉のある道の駅として平成16年12月にオープン！同施設を拠点として、地域の活性化を図っています。



豊田湖畔公園

木屋川ダムに隣接した自然公園で、オートキャンプ場、ケビン、釣り桟橋、バーベキューハウス等を備えています。豊田湖では冬にワカサギ釣りを楽しむことができます。



日本初のホテル舟

毎年各地から多くの人々が訪れ、光の饗宴に感動。この取組が評価され、（一財）地域活性化センターが選定する「第20回ふるさとイベント大賞」（H28.3）で「ふるさとキラリ賞」を受賞★



温泉

「にっぽんの温泉100選」にも選ばれた一の俣温泉（美人湯として知られる関門の奥座敷）や西ノ市温泉があり、一年中身体を癒してくれます。



一の俣桜公園

SNSから話題となり、水没林が水面から顔を出す神秘的な景観が特徴です。



ほたるかごプロジェクト

約60年以上前に作製され、ホテルを入れて観賞していた「蛍籠」を地域住民の手により復活させた「ほたるかごプロジェクト」。

現在ではイベントの他、交流の場の創出など取組みを推進しています。



地域おこし協力隊員募集にあたって

地域の声

- ・過疎化が深刻であり、今後地域の担い手の消失が危惧されており、担い手確保のための生業の創出、定住促進が課題。
- ・地域面積の多くを占める農地及び林地、産業である梨等果樹栽培において、担い手不足による土地の荒廃、山守の不足及び樹園地の縮小等、地域産業が衰退しています。